新入生の学校生活に役立てて

長沼更生保護女性会

３月１０日、長沼町更生保護女性会（穴田節子会長）から長沼小学校の新１年生へ、学校生活に役立てていただきたいと、クリアファイルのセットが贈られました。

小玉校長は「ありがとうございます。子どもたちに配るプリントも沢山あるのでとても助かります。」と話されました。

ふるさとづくりへの多大なる貢献をたたえて

舞鶴遊水地にタンチョウを呼び戻す会

３月１２日、公益財団法人空知しんきん産業文化振興基金による「第３４回産業技術賞・文化賞・ふるさとづくり大賞贈呈式」が岩見沢市で行われ、ふるさとづくり大賞を受賞した舞鶴遊水地にタンチョウを呼び戻す会（加藤幸一会長）へ、表彰盾と副賞が贈られました。

これは、遊水地を活用してタンチョウが再び舞う地域を取り戻す取り組みが、本町のまちづくりに大きく貢献したことが高く評価されたものです。

１７日、加藤会長と菊澤副会長は町長室を訪れ、齋藤町長へ受賞の報告を行ったほか、舞鶴遊水地の近況などを話されました。

「第３次長沼町障がい者基本計画」「第６期長沼町障がい福祉計画及び長沼町高齢者保健福祉計画」「第８期介護保険事業計画」が策定されました

令和３年度から始まる本計画については、長沼町高齢者保健福祉計画等策定委員会において、昨年１０月から審議が進められてきました。

計３回の委員会を経て、２月２６日、十河義博会長と瀬川明廣副会長から齋藤町長に答申書が手渡されました。

今後、本計画に基づき、高齢者、障がい者施策を進めていくこととなります。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策に役立てて

株式会社シイナ重建

２月２２日、株式会社シイナ重建（椎名日出已代表取締役）から、新型コロナウイルス感染拡大防止に役立てていただきたいと、除菌剤２００ℓのご寄贈がありました。

いただいた除菌剤については、町立長沼病院やいこい、小中学校、保育園、ぽっくるなどで活用します。

働く意味を考える～長沼で働く喜びとは

２月２５日、長沼高校・北海道アルバイト情報社・長沼町の共催で、同校１年生を対象としたキャリア教育授業を行いました。

この授業は、「働くことの意味」を考えるもので、町内で働く江崎佑さん（㈱esakⅰ）、萩和朗さん（町議会議員）、伊藤義斗さん（役場子ども育成課）の３名を講話者に迎え、「長沼で働くことの魅力」などについての講話を聞きました。

生徒たち１人１人が講話者の話に真剣に耳を傾け、積極的に質問や発言をする姿が印象的でした。

タンチョウのスノーアートが旧舞鶴小学校に出現！

３月３・４日、「タンチョウのスノーアートを作ろう！」が、旧舞鶴小学校グラウンドで、長沼小学校５年生をはじめ、ＪＡＬ、民族共生象徴空間ウポポイ、千歳川河川事務所、舞鶴遊水地にタンチョウを呼び戻す会などの関係者のご協力のもと開催されました。

澄み渡る青空の下、子どもたちは、それぞれの班で担当している文字や絵をせっせと踏み固め、融雪剤を撒いて３０ｍ×６０ｍのスノーアートを完成させました。

旧舞鶴小学校の校庭に、子どもたちの明るい笑い声とタンチョウが再び戻ってきた２日間となりました。

森づくりにおける優れた発表をたたえて

ながぬま緑の少年団

３月１０日、令和２年度北海道緑の少年団活動発表大会の表彰式が役場で行われ、最優秀賞を受賞されたながぬま緑の少年団（山本隆幸代表）へ、公益社団法人北海道森と緑の会（堀達也理事長）から表彰状が授与されました。

昨年度に引き続き、今回も最優秀賞を受賞されたながぬま緑の少年団の皆さんは、今年１０月に北海道で開催が予定されている「第４４回全国育樹祭」の式典行事において、全団体を代表して活動発表を行います。